

◆授業設計のポイント◆

- ・「学習内容の構造図」の作成
- ・「判断基準」の設定

社会科学学習指導案（地理的分野）

学 級 1年6組（男子21名 女子19名 計40名）

場 所 1年6組教室（1年校舎4階）

授業者 教 諭 加 藤 晃 一

1 単 元 世界の各地の人々の生活と環境

2 単元について

本単元は、学習指導要領社会科地理的分野の内容「(1)世界の様々な地域」のイを取り扱う。世界各地の人々の生活の様子とその変容について、衣食住や宗教とのかかわりを中心に、自然及び社会的条件と関連付けて考察させ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させることを主なねらいとしている。世界の人々の生活は、気候や地形などの自然的条件及び宗教や歴史的背景、民族構成などの社会的条件と密接に関わっている。自然的条件を取り上げるにあたっては、人々の生活に関する学習を中心とし、それに関連する範囲で扱うとともに、自然的条件の違いのみに着目した学習内容にならないよう留意する。社会的条件については、宗教や民族構成などの違いから生活習慣は多様であること、人々の生活様式は、他文化との接触や新しい技術の導入、経済の発展などの諸条件から変容していくものであることを、同じ自然的条件の地域を比較したり、多様な資料等を提示したりして捉えさせる。地理的分野を学ぶ上で、基礎的・基本的な知識や技能及び、学び方の基礎となる単元と位置付けることができると考える。同時に、このような学習を通して多様な文化を尊重する態度を身に付けさせていきたい。

本学級の生徒は、実態調査の結果から、70%の生徒が「社会科は好き」と答えている。一方で30%の生徒は、「覚えることが多い」「言葉が難しい」などの理由から「社会科が嫌い」と答えた。地理的分野については、「興味をもっている」と答えた生徒は43%にとどまった。生徒は小学校6年生で「日本と世界のつながり」で日本とつながりの深い国について調べ学習を行っている。しかし、地球規模で世界の国々を捉えてはならず、特に南アメリカ州、アフリカ州、オセアニア州の国々については、認識が低かった。また、社会的事象について説明したり、自分の考えを根拠を明確にしてまとめたりすることに対しては、80%以上の生徒が苦手意識をもっていることが分かった。

そこで、指導にあたっては、世界地図を活用して大陸や海洋と関連付けながら国や地域の位置関係を捉えさせる。また、自然的条件や社会的条件による人々の生活の特色について、写真や映像、具体物などの多様な資料を提示して、より身近に感じさせるようにしていきたい。そのため、学習内容の構造図を作成し、単元を通して適切な資料の選択を行い、その資料と発問を組み合わせた学習活動を設定する。さらに、言語活動の場面を設定し、社会的事象について説明したり、根拠を明確にして自分の考えをまとめさせたりするなど、思考力・判断力・表現力を育てていきたい。

3 単元の目標

- (1) 自然及び社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を基に、世界各地の人々の生活と環境の多様性に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えることができる。〈社会的事象への関心・意欲・態度〉
- (2) 世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然的条件や社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を基に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。〈社会的な思考・判断・表現〉
- (3) 世界各地の人々の生活と環境の多様性に関する様々な資料から、有用な情報を適切に選択し、世界各地の人々の生活と環境の多様性について読み取ったり図表などにまとめたりすることができる。

〈資 料 活 用 の 技 能〉

- (4) 世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然的条件や社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を理解することができる。
(社会的事象についての知識・理解)

4 単元の指導計画 (全11時間)

時	主 題	学 習 課 題	評 価 規 準	時間
1	世界の気候区分	気候はどのように分布しているのだろう	- 各地の降水量と気温、植生などの資料を読み取ったり、図表などにまとめたりしている。(資料活用の技能) - 各気候帯の分布とおおよその特色(気温・降水量、植生など)を理解し、その知識を身に付けている。(社会的事象についての知識・理解)	1
2	雪と氷の中でくらす人々	一年の大半が雪と氷でおおわれているところで、人々はどのようにくらししているのだろう	- アラスカの生活の特色を様々な資料から有用な情報を適切に選択し、人々の生活の様子を読み取ったり図表などにまとめたりしている。(資料活用の技能) - 寒帯のおおよその特色と自然的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を理解し、その知識を身に付けている。(社会的事象についての知識・理解)	1
3	寒暖の差が激しい土地にくらす人々(本時)	寒暖の差が大きいシベリアで、人々はどのようにくらししているのだろう	- シベリアの人々の生活と環境の多様性に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。(社会的事象への関心・意欲・態度) - シベリアの生活と環境の多様性について自然的条件と関連付けた人々の生活の様子を基に考察し、生活の工夫を適切に表現している。(社会的な思考・判断・表現)	1
4	温暖な土地にくらす人々	同じ温暖なところでも、日本とイタリアにはどのような違いがあるのだろう	- イタリアの生活と環境の多様性を自然的条件や社会的条件と関連付けた人々の生活の様子を基に考察し、生活の工夫を適切に表現している。(社会的な思考・判断・表現) - 日本と比較しながら地中海性気候のおおよその特色と自然的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を理解し、その知識を身に付けている。(社会的事象についての知識・理解)	1
5	乾燥した土地にくらす人々	雨が少なく乾燥したところで、人々はどのようにくらししているのだろう	- サヘルの人々の生活と環境の多様性に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。(社会的事象への関心・意欲・態度) - 乾燥帯のおおよその特色と自然的条件と関連付けた人々の生活の様子と開発による地球環境問題について理解し、その知識を身に付けている。(社会的事象についての知識・理解)	1
6	常夏の島でくらす人々	一年じゅう暑いところで、人々はどのようにくらししているのだろう	- フィジーの人々の生活と環境の多様性に関する様々な資料から、有用な資料を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。(資料活用の技能) - 熱帯のおおよその特色と自然的条件と関連付けた人々の生活の様子と開発による地球環境問題について理解し、その知識を身に付けている。(社会的事象についての知識・理解)	1
7	山にくらす人々	山の急な斜面で、人々はどのようにくらししているのだろう	- アンデスの人々の生活と環境の多様性に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。(社会的事象への関心・意欲・態度) - 高山気候のおおよその特色と自然的条件と関連付けた人々の生活の様子と変化について理解し、その知識を身に付けている。(社会的事象についての知識・理解)	1
8	低い土地にくらす人々	土地が低いバンコクのくらしは、川とどのようなかわりがあるのだろう	- バンコクの人々の生活と環境の多様性に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。(社会的事象への関心・意欲・態度) - バンコクの生活と環境の多様性を自然的条件や社会的条件と関連付けた人々の生活の様子を基に考察し、生活の工夫を適切に表現している。(社会的な思考・判断・表現)	1
9	人々の生活に根ざす宗教	宗教は人々のくらしとどのように結びついているのだろう	キリスト教・イスラム教・仏教・ヒンドゥー教の主な分布を捉え、食のタブーなど衣食住との関連を理解し、その知識を身に付けている。(社会的事象についての知識・理解)	1
10	伝統的な生活とその変化	各地のくらしはどのように変わってきているのだろう	世界各地の気候と住居の素材、主食と農作物との関わりやその変容を理解し、その知識を身に付けている。(社会的事象についての知識・理解)	1
11	単元のまとめ	単元のまとめをしよう	- 第1時～第10時の学習を基に本単元の学習内容を適切に表現している。(社会的な思考・判断・表現) - 本単元の学習内容について理解し、それらの知識を身に付けている。(社会的事象についての知識・理解)	1

5 単元における評価規準

社会的現象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的現象についての知識・理解
自然及び社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を基に、世界各地の人々の生活と環境の多様性に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然的条件や社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を基に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	世界各地の人々の生活と環境の多様性に関する様々な資料から、有用な情報を適切に選択し、世界各地の人々の生活と環境の多様性について読み取ったり図表などにまとめている。	世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然的条件や社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を理解し、その知識を身に付けている。

6 単元の「学習内容の構造図」

単元で獲得させたい内容
世界各地の人々の生活は、気候や地形などの自然的条件や宗教などの社会的条件で地域に応じた衣食住の工夫が見られる。近年は、グローバル化にともない、衣食住の画一化も見られたり、気候の変動や開発に伴う地球環境問題が起きたりしている。

1 単位時間で獲得させたい内容									
気温と降水量の違いが気候の違いをつくる要素である。また、気候の違いによって植生など、自然環境の違いが見られる。	寒帯は、一年の大半が雪と氷に覆われている。イヌイットが気候に適した暮らしをしているが、近年は、暮らしが変化している。	冷帯は一年の気温差が大きい。人々は、長く寒い冬や短い温暖な夏をそれぞれ工夫して生活している。	温帯には地中海性気候、温暖湿潤気候、西岸海洋性気候がある。それぞれ気候に適した伝統的な町並みが見られる。	乾燥帯は降水量が極端に少なく、サハラさばくの気候に適した暮らしをしている。また、環境問題としてさばく化が進行している。	熱帯は年中、高温多雨でありフィジーでは、自給自足の生活が行われている。観光開発による自然環境破壊が見られる。	アンデス山脈では標高の高い気候に適した暮らしや自然に適した農業や牧畜が行われている。近年は、生活の近代化が見られる。	熱帯のパンコクでは大河と関わりが深い生活をしている。年間を通して雨と乾季がある。急速に都市化が進んでいる。	多くの宗教が存在する中、仏教、キリスト教、イスラム教を三大宗教と呼ぶ。宗教によって、生活に特色が見られる。	環境によって暮らしの工夫が見られる。一方、生活のグローバル化や生活の近代化が進んでいる。
①	①②③④	①⑤⑥⑦	①⑧⑨⑩⑪	①⑩⑪⑫⑬	①⑭⑮⑯	①⑰⑱⑲	①⑳㉑㉒㉓	②㉔㉕㉖㉗	①㉘㉙㉚㉛㉜㉝

基礎的・基本的な知識									
①世界の気候分布	②氷の上の暮らしと知恵 ③雪と氷の世界 ④イヌイットの暮らしの変化	⑤世界で一番寒い場所 ⑥木や作物が育つ暑い夏 ⑦都市の暮らしとレジャー	⑧丘の上に栄えるイタリアの町 ⑨暑く乾いた夏と寒く湿った冬 ⑩現代に生きる古くからの町並み	⑪サヘルに暮らす人々の暮らし ⑫乾燥した大地 ⑬変化するサヘルの生活と環境	⑭自給自足に近いフィジー ⑮いつでも豊富な果物と作物 ⑯さんごしょうと観光開発	⑰山を登りおりする生活 ⑱家畜を利用した生活 ⑲ゆるやかに変化する暮らし	⑳水の上の生活 ㉑季節により変化する川の水の水位 ㉒変わりつつあるバンコク	㉓宗教の広がり ㉔宗教ときまじりごと	㉕環境に適応した暮らし ㉖多様化した食生活 ㉗都市の風景と伝統的な生活

具体的事実									
①気温と降水量の違いから気候は区分されている。また、気候の違いにより植生や人々の生活に特徴が見られる。	②イヌイットの人々は、魚や肉を生で食べる習慣がある。 ③雪と氷に覆われるため作物が育たない。 ④近年、定住化が進んだり、スノーモービルを使用したりするなど生活の変化が見られる。	⑤寒さを克服するため、二重窓や丸太などの厚い壁、高床の住居など工夫が見られる。 ⑥短い夏はダーチャなどで過ごす。 ⑦冬はアイスホッケーやクロスカントリースキー、凍った湖でのつりを楽しんでいる。	⑧窓を小さくブラインドを付けている。 ⑨気候に適したぶどうやオリーブが栽培され食生活には欠かせない。 ⑩温帯の中でも地中海性気候は夏は乾燥する。 ⑪キリスト教が生活に大きな影響を与えている。	⑫サヘル地帯に遊牧民が暮らしている。 ⑬オアシス以外では樹木がほとんど育たないため、かんがい施設を整備したり、焼畑農業や遊牧が行われている。 ⑭人口増加などによりさばく化など環境問題も起こっている。	⑮フィジーではキャッサバ、ヤムイモなどが栽培されている。 ⑯熱帯は高温多雨で植物がよく育つので、食べ物は豊富である。 ⑰観光業が盛んであるが、さんごしょうやマングローブの減少などの問題も起こっている。	⑱標高によって気候が違っているのでそれぞれの作物を栽培している。 ⑲植物の育たないところはリャマやアルパカが放牧されている。 ⑳近年では、電気やバスなどが通っている村もでてきた。	㉑タイのチャオプラヤ川では床を高くして川の増水に備え、小舟を交通手段にしていた。 ㉒雨季と乾季がある。 ㉓近年では、高床式の住居は減り、高速道路や新交通システムなどの交通網が整備されている。	㉔世界規模で広がっている仏教、キリスト教、イスラム教を三大宗教という。 ㉕様々な宗教があり、人々の生活に密接に関わっている。	㉖地域に応じた材料を使った衣食住が営まれてきた。 ㉗外国のものが手に入るようになった。現在では、生活習慣に応じて衣食住の画一化が見られるようになった。

既 習 内 容
単元「世界のすがた」 ・地球のすがたを見てみよう ・地球儀と世界地図を比べてみよう 小学校「日本と世界のつながり」(6年生) ・日本とのつながりが深い国々(・韓国調べ ・アメリカ調べ ・中国調べ ・ブラジル調べ) ・世界の人々とともに生きる

7 本時の実際(3/11)

(1) 題 材 寒暖の差が激しい土地に暮らす人々

(2) 目 標

ア シベリアの人々の生活と環境の多様性に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えることができる。
(社会的事象への関心・意欲・態度)

イ シベリアの生活と環境の多様性について自然的条件と関連付けた人々の生活の様子を基に考察し生活の工夫を適切に表現することができる。
(社会的な思考・判断・表現)

(3) 授業設計の工夫

単元の目標を踏まえ、単元の「学習内容の構造図」を作成する。これを基に、1単位時間ごとに定着させたい学習や単元構成を明確にし、言語活動を充実させるための適切な資料の精選と生徒の思考を深める発問計画を立てる。

本時では、導入で、緯度の違いによる5カ所の雨温図を提示し、冷帯の特徴である1年の寒暖の差が大きいこと、冬の寒さが厳しいことを捉えさせ、学習課題の「寒暖の差が大きいシベリアで、人々はどのような暮らしをしているのだろうか」を設定する。冷帯の雨温図を判断させる際、既習事項である雨温図の読み取りや緯度による気温の変化を根拠に判断できているかを明確にして選択させる。展開では、冷帯の自然的条件を説明し、そこで暮らす人々の生活の様子が読み取れる複数の資料から、人々の生活の様子をノートのメモ欄にまとめさせる。生活の工夫には、寒暖の差が大きいことや冬の寒さが厳しい自然条件があることを生徒には捉えさせるようにする。そして、学習課題の解決につながる具体的な発問「生活の様子から冷帯ならではの工夫を説明しよう」を提示し、本時の学習から根拠を見出し、説明させる言語活動の場を設定する。

その際、具体的な記述について判断基準を設定し、生徒が気付かない視点や新たな視点に気付けるよう机間巡視等で指導をしていく。また、冷帯の自然や環境を取り巻く問題について、写真やコラムなど多様な資料を提示し、生徒がより身近に実感できるよう工夫する。

(判断基準)

評価規準 【思考・判断・表現】		
シベリアの生活と環境の多様性について自然的条件と関連付けた人々の生活の様子を基に考察し、生活の工夫を適切に表現している。		
尺度	判断基準	判断基準に基づいた指導
B	(以下の内容が述べられている・記述されている) ア 資料から冷帯の自然的条件と関連付けた生活の工夫を読み取っている。 イ 資料から根拠を明確にして述べている。	【C状況の生徒への指導】 図： シベリアの家屋の工夫 図： 「日本の家屋とどこが違うかな？また、そうなっている理由は？冷帯の自然と関連付けて考えよう。」 「どうして小麦のパンではないの？」 「日本には見られないシベリア独特の生活は無かったかな？」
	【予想される生徒の表現例】 ・ 高床の建物が見られる。それは、永久凍土を溶かさないための工夫であったり、永久凍土が溶けても家屋を守る工夫である。 ・ 伝統的に二重の窓で太い丸太で組み立てられたログハウスが建っている。それは冬の寒さが非常に厳しいためである。 ・ ライ麦のパンが主食である。それはライ麦が小麦と比べると、寒さに強く養分をあまり必要としないからである。	

	- 冬は-30度を下回るため、河や湖も凍結する。そのためバイカル湖では、カーレースのコースになっている。 - 短い夏には郊外のダーチャで暮らし、菜園では、冬場は得られない新鮮な野菜を栽培し食材に生かしている。 など	【B状況の生徒への指導】 図： 「人の生活には、衣食住や娯楽などがあるね。」
A	(Bに加えて) 衣・食・住・娯楽など、2つ以上の視点から根拠を明確に説明している。	

(4) 展 開

過程	主な学習活動	時間 形態	○指導上の留意点 ◎評価 ※授業設計の工夫	備考
導 入	1 イルクーツクの雨温図を見て、地球上のどの都市の気候にあてはまるか予想する。 イカルイト イルクーツク ローマ トンブクトゥ パンコク	5分 一斉	1 イルクーツクの雨温図を提示し、地図の5つの都市のどれか考えさせる。 ○緯度の違いを根拠として考えさせる。 資料（以下図）と発問（以下図） 図 雨温図 図 この雨温図は、この5つの都市のどれにあてはまるだろう。	図 雨温図
	2 学習課題を確認する。 — 学習課題 — 寒暖の差が大きいシベリアで、人々はどのような暮らしをしているのだろう。	3分 一斉	2 学習課題を提示する。 ○一年の寒暖の差が大きいという特色に着目させる。	
展 開	3 冷帯の自然の特徴を理解する。 ・夏と冬の気温の差が大きい ・タイガ（針葉樹林） ・永久凍土 ・バイカル湖	10分 一斉	3 資料を提示し、冷帯の自然の特徴を紹介する。 図 タイガと針葉樹林 夏と冬のバイカル湖 永久凍土	図 写真資料 映像 写真資料 資料
	4 映像を見て、人々のくらしの様子を読み取りメモを取る。 衣：夏と冬の服装 食：ライ麦 じゃがいも 住：木造の住居 高床 ダーチャ レジャー：アイスホッケー クロスカントリースキー バイカル湖での釣りやカーレース	10分 一斉 ↓ 個	4 衣食住の情報が入った映像を見せ、くらしの様子を紹介する。 図 夏と冬の服装の場面 図 「気付くことは？」 図 ライ麦のパンの場面 図 「なぜ小麦のパンではないの？」 図 「シベリアの家屋」の場面 図 「日本の家との違いは？それはなぜ？」	
	5 くらしの様子から寒さを克服するための工夫や短い夏の生活など、冷帯の特徴と関連付けて説明する。 ・ライ麦のパン ・高床の住宅 ・バイカル湖でのカーレース ・ダーチャ	15分 グループ	5 くらしの様子を冷帯の特徴と関連付けて説明させる。 ※判断基準を達成するための学習活動 ○判断基準を基に説明する視点に気付かせる。 ◎判断基準Bの内容が説明できているか	
終 末	6 地球温暖化や開発によって起こっている問題を知る。 永久凍土がとけてゆがんだ家屋や湿地が広がる土地	6分 一斉	6 地球温暖化や開発がもたらす環境問題について紹介する。	図 写真
	7 次時の学習内容について聞く。	1分 一斉	7 温帯地域の生活について学習することを予告する。	